

# 日本看護歴史学会

## 會報

日本看護歴史学会  
第12号  
1992年4月20日

### 歴史を知る 歴史研究を楽しむ

山本 捷子

看護基礎教育課程では一九九〇年度から教育課程が改訂され、看護歴史の独立した科目はなくなつたが、看護の概念や技術を学ぶ時に、その起源、創始者、変遷や変化させた要因、すなわち看護の歴史を知らずして、今を知ること、さらに将来の方向を展望することはできない。看護教育に携わる者が自分の担当する分野に関する歴史を知るためには、まずその分野に興味をもつことと、楽しんで探究することが肝要ではなからうか。

「歴史研究」となると、単に歴史を知るといっただけでなく、研究の姿勢や適切な方法論をもとに歴史を探究することが必要になる。また折角探究したことは論文という形で他者に伝わるようにしなければならぬ。この辺りから「歴史は好きだが、研究はチョット」と構えてしまい意気込みが薄れがちになるのではないだろうか。

しかし、歴史探究は「興味」と「熱意」によって、案外と容易にスタートでき、かつ発展させ得るものだということを私は体験的に知った。

歴史研究は溯行し、歴史記述は下行する(エドアルト・マイヤー)

歴史研究の第一歩はまず問題意識をもつこと。私はある人に「なぜ看護婦はキャップを被るのか」と尋ねられてから、キャップの歴史への探究が始まった。看護婦のキャップのルーツはどこか、形は

どのように変化したのか、日本にはいつ誰が移入したのかを調べたくなった。それは日赤と聖路加の違いから、日本の近代看護の創始へと遡り、さらに欧米の看護の歴史との関係を追及しなければならぬ。当然、ナイチンゲールについて、またそれ以前の宗教的看護のこと、アメリカへの波及についても調べる必要が出てきた。

問題意識の後は適切な研究方法、研究計画と史料収集が重要なポイントである。例に私の体験を述べてみよう。

数年前、ロンドンに行く機会があり、ナイチンゲールの銅像(クリミア戦争記念碑)を探して、うる覚えの「ウォータール」を頼りにテムズ河畔・バックingham宮殿・トラファルガー広場辺りを数時間も右往左往する羽目になってしまった。しかしお蔭でロンドンではイース・キャベルの方がナイチンゲールより有名であり、彼女の石像を教えてもらうことができたが、十分な下調べの大切さを痛感したことがある。



ベルビュー病院看護学校のレリーフ (ニューヨーク)

アメリカに行った折には、ボストンのマサチューセッツ病院とニューヨークのベルビュー病院を訪ね、キャップに注目した歴史的写真やレリーフに出会うことができた。焦点を絞っていると、それを発見した時の胸躍るほどの感激、喜びは想像以上のものがある。外国でも看護歴史に興味をもっていると、寸暇を割いて記念碑や博物館(考古館)を訪れたり、現地の人に様々な協力を得ることが出来る。「足を使うこと」と「誠実さと熱意」が不可欠のようである。まだ史料が不十分で論文にはできないが、「過去と相手は変えることができない」のだから、時間をかけて、楽しみながら追及し続けたいと思っている。

日本看護歴史学会第5回大会  
収支決算報告書

<b>&lt;収入&gt;</b>	
大会参加費 (4000×44名)	176,000
懇親会参加費 (3000×27名)	81,000
大会総会費	50,000
繰り越し金	137,803
昼食代 (700×18名)	12,600
合 計	457,403
<b>&lt;支出&gt;</b>	
講師謝金・お車代 (2名)	125,000
会場使用料	30,000
懇親会	60,000
参加者昼食代 (18名)	12,600
幹事・世話人昼食代	18,300
事務・通信・雑費	5,200
合 計	251,100
<b>&lt;差し引き残高&gt;</b>	
457,403 - 251,100 = 206,303 (次年度大会費用へ繰り越し)	

○分科会だより○

東京地区看護史研究会では、昨年八月三十一日に、救世軍清瀬病院において「救世軍医療史」「ホスピスの歴史」について学び、あわせてホスピス見学をしました。

救世軍は一八七八年、イギリスのメソジスト派のウィリアム・ブリスによって軍隊組織の伝道会として創始されたものです。日本では一八九五年ライト大佐一行14名による活動が開始され、山室軍平をはじめ志ある人々の参加を得て、

伝道と社会事業活動が盛んに行われるようになりました。特に一九〇〇年の東京吉原遊郭における激しい婦人救済・廃娼運動に始まり、下町一帯における児童保護、労働紹介、宿泊所、医療活動、災害慰問等、一九四一年の解散に至るまでと、戦後四六年に復活してから現在も、民間の社会福祉事業として大きな貢献をしています。

医療活動としては一九一二年に御徒町病院を開設し、結核患者保護指導、診療班の訪問看護活動を開始しています。三四年には看護婦養成、三六年には産婆養成も始められています。三筋町と西新井の病院は四五年の戦災で消失してしまいましたが、一九一六年に開設された杉並療養所は戦後はブリス記念病院に、三四年に清瀬に開設された清心療養園は清瀬病院に発展しています。時代の要請を先取りしながら、七八年には老人病棟を、八九年にはホスピス棟を発足させています。

わが国のホスピスは、聖隷三方原、淀川キリスト教病院、国立松戸病院等、まだ数箇所設置されているに過ぎません。進み過ぎた医学に対し、真の人間医療を追及していくところ、ホスピスは医療・看護における重要な課題になるものと確信した次第です。

わが国では宗教団体による医療・看護はあまり表舞台には出てきませんが、信仰にもとづいた篤い心と浄財による医療活動が地道に行われていることを実際に知ることができました。それ以上に、人間を大切にしたい「こころの医療」を具現化しているケアフルなホスピスの設備や看護の状態、心温かな関係者の方々と接し、救世軍の歴史を学ぶと共に、充実した感激の時を持つことができ感謝しております。



救世軍 清瀬病院見学

「日本看護歴史学会誌」  
投稿規程

- 一、論文原稿は未発表のものに限る。
- 二、原稿用紙は原則としてB5判
- 三、編集委員会において、特に枚数を指定するもの以外の論文原稿は、原稿用紙五〇枚以内とする。図版・写真などは一葉を原稿用紙一枚分とみなす。
- 四、論文原稿には必ず原稿用紙一枚し二枚の要約を添付する。
- 五、原稿には表紙を付し、表題、英文表題、著者名、所属機関名、連絡先を表記し、編集委員会事務局宛に送付する。
- 六、特に、編集委員会が必要と認める場合には、掲載料を徴収することがある。

編集委員会事務局  
〒160 東京都新宿区信濃町35  
慶應義塾看護短期大学内  
藤村 龍子

掲載原稿の〆切日  
毎年十二月二十日

事務局だより

■新入会員紹介



- 林 加之子 No.91-015  
〒615 京都市右京区鳴滝音戸山町 四一五三
- 稲見すま子 No.91-016  
〒232 横浜市南区中村町四一三〇  
横浜市立医大附属看護学校
- 渡辺 節子 No.91-017  
〒232 横浜市南区中村町四一三〇  
横浜市立医大附属看護学校

■住所変更



- 田中 幸子 No.87-062  
〒213 川崎市高津区溝ノ口八五七  
勝栄工務店2F

●次の方の住所を御存知の方は  
事務局までお知らせ下さい。

- 西川みどり (No.87-111)
- 棟形由美子 (No.87-058)
- 山本もと子 (No.87-119)
- 上野ミユキ (No.87-020)
- 小山田信子 (No.88-007)
- 高橋由美子 (No.87-139)

会費納入のお願い

1992年度より、4,000円に値上げになりました。  
別途、郵便振込用紙を同封していますので納入してください。

振替口座：京都1-52185  
日本看護歴史学会

日本看護歴史学会会報第十二号  
編集・発行責任者  
〒150 東京都渋谷区広尾 4-1-3  
日本赤十字看護大学  
山本 捷子  
日本看護歴史学会事務局  
〒615 京都市右京区西院月双町111  
マンハイム五条三〇九  
亀山 美知子

ナイチンゲール  
著作集(全3巻)

湯横ます 監修 薄井坦子他訳  
A5判 上製 3,502~4,017円

フロレンス・ナイチン  
ゲールの生涯

C. ウーダム・スミス著  
武山満智子他訳  
A5判 上製 上下揃 5,768円

看護覚え書  
■ F. ナイチンゲール著

薄井坦子・小玉香津子他訳  
A5判 288頁 1,751円

科学的な看護  
実践とは何か  
(上・下)

薄井坦子 講演集  
四六判 並製 各208頁 各1,339円

病床の心理学

J. H. ヴァン・デン・ベルク著  
早坂泰次郎他訳  
四六判 並製 184頁 1,545円

詩集 病者・花

小川鼎三・中井準之助編  
■ 細川 宏 遺稿詩集 B6判 上製 232頁 1,545円

東京都新宿区早稲田鶴巻町514

現代社

電話 03(3203)5061 振替 東京5-68248